

# ふるさと

だい 129号 2025年9月1日 天理教語学院日本語科



## ごあいさつ

てんりきょうごがくいんこうちよう 天理教語学院校長 うえむらたけお 上村雄郎

てんりきょうごがくいん そつぎょうせい みな 天理教語学院の卒業生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか？

てんりきょうごがくいん まな みち おし にほんご い 天理教語学院で学んだお道の教え、日本語を活かして、ようぼくとして日々を過ごしていることとおもいます。

ことし にほんご か 今年（ことし）の日本語科では、かんこく たいわん 韓国、台湾、モンゴル、ブラジル、メキシコ、コロンビアから来た22名が学んでいます。皆さんも思い出してみてください。ふあん から はじ にゆうがくしき たが ことば 不安から始まった入学式。お互い言葉がわからず、身振り手振りで自分の思いを伝えていました。しかし、4か月たった夏休み前には、ただたどしい日本語で思いを伝え、仲間意識が生まれ、たすけあっていたことを。言葉の壁を越えて、教祖と同じ言葉で心を通わせる事ができた事をこの機会に思い出してください。

また、おちばで学んだ日本語を使っていますか？天理教の教えをいつも心においていますか？おつとめをつとめていますか？おさづけを病気の方に取り次いでいますか？おちばで経験した事、学んだ事、楽しかった事、まだ教祖の事を知らない人へ伝えてありますか？親神様が望まれる、皆が明るく、楽しく、たすけあう世界に一日も早くなるように、やさしい心で、生かされている喜びを感じて、他の人に広げてください。お願いします。

らいねん ねん がつ にち おやさま ねんさい いま ねんさい じゅんび 来年（らいねん）、2026年1月26日に、教祖140年祭がつとめられます。今、おちばは、年祭の準備がいろいろと進められています。とく ことし つきなみさいぜんご しゅうまつ きゅうじつ 特に、今年（ことし）は、月次祭前後、週末、休日にはたくさんの方々がおちばに帰参されています。三年千日、年祭に向けての活動で、教祖に喜んでいただけるようつとめてきた結果を見せていただいています。

ごがくいん まな みな てんりきょう おし なか ふだん せいかつ じっごう こと かんが ごぞんめい おやさま よろこ 語学院で学んだ皆さんが、天理教の教えの中で普段の生活で実行できる事を考えて、御存命の教祖に喜んでいただけるようつとめてください。そして、おやさま ねんさい どうじつ せかいじゅう かえ おやさま せいじん 姿（すがた）をご覧いただけるよう心から願っています。その時は必ずTLIIにお立ち寄りください。会えるのを楽しみにしています。

たいにん  
退任のあいさつ



あべよしみち こうふ  
阿部善道 (甲府)

みなさん、お元気ですか？ 私は今年の3月で日本語科を終えることになりました。

日本語科は、2019年度から6年間勤務させていただきました。海外部には2007年から、18年勤務させてもらいました。その間、アメリカ伝道庁やオーストラリア出張所でも勤務させていただきました。また、おやさと練成会のスタッフもさせていただき、英語コース、ポルトガル語コースは全期間、韓国語コースでは日本語の授業など、いろいろな経験をさせてもらえました。日本語科に入ってから、練成会の時の学生やアメリカ、オーストラリアからの学生ともTLIで再会し、当時は英語、スペイン語またはポルトガル語で会話していたのが、今度は日本語を教えて、日本語で話すという、とても不思議な経験をさせていただきました。

これからは、立場や場所は変わってしましますが、同じ道のようにぼくとして一緒に陽気ぐらし世界実現のために天理教を広めていきましょう！ 皆さんとの思い出を大事にして、まだまだ長い人生、感謝の気持ちいっぱいがんばっていきたくと思っています。今まで、ありがとうございました。



よしかわこうすけ たかやす  
吉川宏介 (高安)

みなさん、お久しぶりです。元気ですか。

私は今年の3月にTLIを卒業しました。2021年からTLIで4年間勤務させていただきました。TLIの学生は本当にいろいろなキャラクターの人がいて、とてもおもしろかったです。毎年4月には「今年はどんな(変な)学生が来るのかな～」と楽しみにしていました。でも、終わってみれば毎年最高のクラスだったなと思います。

1番良かったことは最高の仲間がたくさんできたことです。私はこれからいろいろなところを旅行しようと思っています。みなさんの国にも絶対に行こうと思っていますから、その時はぜひおもしろいところを案内していただきたいです。

またLINEします！



まつかわたかひろ たかおか  
松川高洋テオ (高岡)

この度、TLIを退部することとなりました。2023年から2年間、日本語科で勤務させていただきました。短い期間ではありましたが、学生の皆さんに日本語を教える難しさや、心の面でのサポートをすることの大切さを学びました。周りのスタッフに支えられながら、無事に2年間を過ごすことができたと感じています。フランスに帰国後も、ここで学んだことを生かして人助けが沢山できるよう、成人してまいります。



こくせき きょうかい にゅうがく とし  
〈国籍／教会／入学した年〉

ねん がつ ねん がつ  
2024年4月～2025年3月



ノーマン  
(台湾／山名／2022)

せんせい せんもんがっこう ぶじ そつぎょう  
先生のおかげで専門学校を無事に卒業しました。TLIの  
いちねんかんいろ べんきょう つぎ こうはい がんば  
一年間色々な勉強になりました。次の後輩たちも頑張っ  
てください。



ジェイ  
(タイ／城法／2019)

TLIの生活は、とても楽しかったです。先生もいつもたす  
けてくれてとても嬉しかったです。今の生活ができるの  
は、TLIの先生がいたからです。感謝の気持ちです。



アービン  
(フィリピン／岡山／2008)

13年ぶりにおちばへ帰ってきました。TLIの皆様とお会  
いできて嬉しいです。またおちばで会いましょう！  
お元気で！



ジュジュ  
(ミャンマー／飾東／2019)

楽しいことがいっぱいあるTLIに参りました。久しぶりで  
す。また遊びにきます。



カロナ  
(カンボジア／浅草／2012)

一年間本当に楽しかったです。また、この経験が役に立っ  
ています。みなさんもぜひTLIで勉強してください。



ティブス  
(メキシコ／洲本／2009)

久しぶりにTLIにきました。TLIの生活はすごくいい思  
い出となっております。とてもお世話になりました。



ケニー  
(アメリカ／浅草／2020)  
サキ  
(ブラジル／南海／2020)

おちばでの出会いを大切に！（ケニー）

1年間と言わず4年間大変お世話になりました！日本語  
はおかげさまでしゃべれるようになりましたし、コロナの中  
でも楽しかったです！卒業後でも、いつ来てもいつも元  
気をもらっていましたので本当にありがとうございました！（サキ）



ヨシミツ  
(ブラジル／ブラジル伝道庁／2014)

10年前、日本にいる間、お世話になりました！TLI、  
日本は2年ぶりでした。TLI、海外部のみなさんに出会  
えて本当に嬉しいです。学生の頃を思い出します。  
本当にありがとうございます。



キン  
(台湾／嶽東／2019)

TLIでの2年間は楽しくて、楽しくて、一生大切な思い出  
です。沢山学んで、沢山友達ができ、そして沢山成人  
できて、TLI卒業生になれるのは本当に光栄です。  
TLIの先生たち、海外部の方々がすごく温かく接してく  
れて、本当にありがとうございます。パワーを頂戴し、ま  
だまだ頑張っています。





シエイ  
(ハワイ/周東/2015)  
シャーロット(1966選科)

ALOHA! どこへ行っても頑張りますよ!



リタム  
(インド/上之郷/2019)

私はTLIで1年間日本語を学んで本当に先生たちに心  
の中から感謝しています。とてもありがとうございました。



ケンホ  
(韓国/高安/2005)

TLIを久しぶりに訪れました。昔の思い出がよみがえっ  
ています。みんな元気にいらしてください。



マコト  
(フランス/西宮/2009)

家族で帰ってきました。



ジャネット  
(カナダ/本部/2009)

妹とお母さんと一緒に天理に帰りました。Thank you.  
TLIのおかげで日本語ができました。



シーワン  
(カナダ/本部/2007)

みなさん、お久しぶりです。TLIの先生たちのおかげでい  
ろいろ勉強しました。色々な友達と出会いました。  
いつもありがとう。



羽澤 徹  
(元日本語科スタッフ)

私は元気です!  
岩手に遊びに来てくださいね!



トントン  
(台湾/城法/2017)

みなさんお久しぶりです。冬は北海道でスキーを教え  
ています。夏は色々なツアーをしています。



山本 正悟  
(元日本語科スタッフ)

久しぶりのおちばがえりです。  
またおちばで会いましょう!



スミン  
(韓国/八木/2011)

8年ぶりに帰ってきました。はっぴを出して着てみたら、  
お母さんのでした。



テイモ  
(アメリカ/中和/2019)

5年ぶりですね! みんな元気にしてるかな。ハワイに帰る  
けど、また戻るときにみんなに会えたら嬉しいね。



マイルス  
(ハワイ/本島/2011)

アロハみなさん!





マサシ

(ブラジル/ブラジル伝道庁/2012)

げんき  
元気でね!



ユウイチ

(ブラジル/水口/2018)

ひさ  
お久しぶりです。

おちばからいっぱい元気をもらいました。



エイゼリン

(フィリピン/東本/2013)

It's been 4 years! So happy to meet everyone in TLI. Cheers!



なかじま ひではる  
中島 秀春

(元TLI校長)

みんな元気ですか。初めて新しい校舎に来ました。



アオ

(台湾/本愛/2022)

陳 金順(1989別科)

あいき  
会いに来ました!(^)! (アオ)

35年ぶりにまた天理、おちばへ帰りました。(陳 金順)



シュウ

(台湾/山名/2019)

せんせい にほんご かせい せい かいがいぶ みなさま  
先生たち、日本語科生、おやふせ生、海外部の皆様、お  
げんき みなさま あ ほんとう うれ  
元気ですか。皆様に会えて本当に嬉しいです!!

TLI大好き!!



リキ

(台湾/山名/2019)

ひさ  
お久しぶりです。  
みんな元気で良かったです。



ハン

(台湾/梅谷/2018)

せんせい げんき なに  
先生たちが元気で何よりです!



レジーナ

(ブラジル/高岡/1998)

ひさ  
久しぶりにTLIに来て嬉しいです。25年ぶりです!



デービット(2000)

マイケル(2002)

ミシェル(2005)

コーリー(2016)

クチ(2020)

メイ(1978別科)

(ハワイ/東中央)

アロハ! 10年ぶりのおちばがえりです。本当に素晴らしい  
ところですよ。ハワイで会社を運営しながら、ワイフと  
げんき す そつぎうせい かなら たす  
元気に過ごしています。卒業生は必ずTLIを訪ねてくだ  
さい。(デービット)

TLIのスタッフのおかげでこれまでやってきたこと、そし  
て、これからもやってくれること全てに感謝します。私の  
じんせい あた えいきう おお みな おこな  
人生に与えた影響は大きく、皆さんが行っているすばら  
しい努力は私にとって特別なものです。(マイケル)

TLIのおかげで、世界中の沢山の学生と人々をつなが  
り、本当に「One World, One Family」。いつもみな  
ごうふく けんこう いの  
んのご幸福とご健康を祈っています。(メイ)



**プラジャン**  
(ネパール／南海／2016)

おちばに帰り、先生方とお会いできて幸せです。



**ケンジ**  
(アメリカ／中河／2021)

久しぶりにみんなと会えて本当に良かった！



**アスタ**  
(ネパール／名古屋／2000)

今は名古屋市にある名城大学で非常勤講師になっています。TLIで勉強したことは人生の宝物です。ここで日本語を勉強したおかげで大学まで進学でき、ありがたいです。



**プー**  
(台湾／西／2017)

7年ぶりにおちばへ帰りました。みなさんは元気で良かったです。身体を大切にして勉強を頑張ってください。



**ミンソン**  
(韓国／八木／2019)

元気やで！



**ウンジン**  
(韓国／八木／2022)

やっと天理に帰れました。教祖140年祭、みんなに会えるのをたのしみにしています！



**ジベス**  
(ネパール／南海／2015)

今羽田空港で働いています。日本語の先生たちに感謝しています。これからもおちばに会いに来たりしますから、よろしくお願ひします。



**チャーミー**  
(フィリピン／東本／2004)

マブハイ！チャーミーです。7年ぶりのおちばがえりです。久しぶりのおちばでみんなに会えてとても嬉しかったです。また機会があれば来たいです。



**ユウセイ**  
(台湾／山名／2022)

お久しぶりです。みなさんは元気ですか。TLIの2年間でたくさんのおちばを学びました。本当にありがとうございました。



**森分 達史**  
(元日本語科スタッフ)

お久しぶりです。みなさんお元気ですか。岡山に遊びに来るときは教えてくださいね！また会いましょう。



**ユミ**  
(ブラジル／南海／2015)

5年ぶりにTLIに来ました！日本語科とおやさとおふせこみ科のおかげで色々な経験ができました。すごく感謝しています。



**ユウ**  
(メキシコ／佐野原／2014)

2年ぶりにおちばに来てとてもうれしく思います。また2026年に来ます。



♡♡♡  
おっこん  
ご結婚おめでとう ♡♡♡



Ozaki, Bruna Miki Takamatsu  
(ブルーナ/ブラジル/<sup>ちゅうわ</sup>中和/2019)  
2025年<sup>ねん</sup>11月<sup>がつ</sup>29日<sup>にち</sup>



マキ きゆうせい こばやし  
オオクラ 真喜(旧姓:小林)  
(<sup>ほんぶ</sup>本部/<sup>ほんごか</sup>日本語科スタッフ)  
2024年<sup>ねん</sup>9月<sup>がつ</sup>8日<sup>ようか</sup>



まつかわ たかひろ  
松川 高洋 テオ  
(<sup>たかおか</sup>高岡/<sup>もとにほんごか</sup>元日本語科スタッフ)  
2025年<sup>ねん</sup>1月<sup>がつ</sup>18日<sup>にち</sup>



# にほんごか いちねん 日本語科の一年

がつおいか りきょう ねんど にゅうがくしき  
4月6日 立教187年度 入学式

2024年度は13の国と地域から28名が入学しました。不安  
と期待を胸に、おちばでの留学生生活が始まりました。



がつこのか  
4月9日 オリエンテーション

どんな先生や友達がいるのか、ドキドキしながらみんなと  
楽しくゲームをし、そのあと、校内見学やこれからの生活  
に必要なことを聞きました。



がつこのか にほんごじゅぎょうかいし  
4月10日 日本語授業開始

この日は教室で日本語の授業を受ける初日となります。  
これからどんなことを勉強するのだろう。日本語の勉強は  
難しいだろうか。期待と不安の中、授業が始まりました。



がつ にち ぜんきょういつせい  
4月29日 全教一斉ひのきしんデー

本部神殿中庭での出発式の後、今年は丹波市小学校の  
除草ひのきしんをさせていただきました。



がつなのか しゅうれんじゅぎょうかいし  
5月7日 修練授業開始

将来、それぞれの国の教会や拠点などで、おつとめがつと  
められるように、おてふり、鳴物をしっかり習いました。

がつとおか げんごべつげんしゅう  
5月10日 言語別研修

少し日本の生活にも慣れたころ、勉強面や生活面などで  
不安に感じていることについて、同じことばを話す仲間や、  
海外部のアドバイザーと自国の言語で素直な気持ちを話  
し合いました。



がつ にち げんごべつぎょうじゅぎょうかいし  
5月13日 言語別教義授業開始

日本語による教義の理解を目指すには、まず母語でしか  
り理解しておかなければなりません。そこで、学生はそれぞ  
れの言語に分かれて、講師の先生の授業に熱心に耳を傾  
けました。

がつようか しんぼくかい  
6月8日 親睦会

ことし かいがいぶ ごがくいん たてもの しょう しつないうんどうかい  
今年度は海外部、語学院の建物を使用して、「室内運動会」  
が行われました。  
にほん ごかせいどうし ふだん はな  
日本語科生同士だけではなく、普段あまり話したことがな  
かったおやさとふせこみ科の先輩たちやTLIのスタッフとも  
楽しく交流ができました。



がつ にち はつ か ぜんきけんしゅう  
7月13日、20日 前期研修

にち じぶん はじ かえ きとき  
13日には、自分が初めておちばに帰って来た時、どんな  
気持ちだったか、おちばの方々がどのように迎えてくれた  
のかを思い出し、帰参者の気持ちについて考えました。さ  
らに、今年度は天理高校生との交流会も行い、おちばが  
えり期間中に役立つゲームを教わりました。20日には、こ  
れから自分たちはどんな態度でひのきしんをさせていただ  
くか、グループで話し合い、一人ひとりが目標を立てました。



がつ にち にち  
7月25日～30日 こどもおちばがえりひのきしん

きび あつ なか ひとり おお こども よろこ  
厳しい暑さの中、一人でも多くの子供たちに喜んでもらお  
うと、38母屋の清掃ひのきしんと、忍者村ひのきしんを勇  
んでつとめました。



がつ にち はきものせわど  
9月26日 履物世話取りひのきしん

がつほん ふつきなみさい けいだいち くつ わた きさんしゃ  
9月本部月次祭では境内地で靴べらを渡したり、帰参者  
の靴を拭くなどのひのきしんをさせていただきました。慣れ  
ないひのきしんで最初は戸惑いもありましたが、最後には  
すすんで靴べらを渡せるようになりました。



がつこのか にち ちゅうきけんしゅう  
10月9日～11日 中期研修

- 「学生間／学生とスタッフの親睦を図り、互いに相談できる関係を作る」
  - 「信仰を見つめ直し、現段階からもう一歩踏み出すきっかけ作り」
  - 「卒業までの目標設定」
- もくてき けんしゅう おこな  
を目的に研修を行いました。グループ研修では話し合い  
とおみずから にちにち とお かた かんが きちよう じかん  
を通して自らの日々の通りを考える貴重な時間となり  
ました。また、本部にお供えされるお米を収穫する稲刈り

ひのきしんもさせていただきました。3日目の校外学習は  
 Farm雪岡(ぶどう園)へ行き、おいしいぶどうを頂いた  
 後、大神神社を見学しました。



### アンケート「中期研修について」

- 自分が頑張ったこととこれから頑張りたいことを考えて、  
 未来の目標が分かりました。
- みんなが自分のことを教えてくれて嬉しかったです。  
 「前の生活はどうでしたか」を知ったら、たぶん今の  
 生活のやり方が分かりやすいです。

### 11月16日「ほこてんり」参加

天理市にある「親里大路のイチョウ並木」で行なわれたイ  
 ベント「ほこてんり」に参加しました。民族衣装を着たり、旗  
 を持って、紅葉を楽しみながらパレードをしました。



### 11月19日 日本語による教義授業開始

これまで母語で習った基本教理を、日本語で学び、さらに  
 教理の理解を深めました。

### 12月6日 史跡見学

今年も親里周辺の教祖とゆかりのある史跡を歩かせてい  
 ただきました。各所で、青年会婦人会海外人材派遣生や  
 スタッフからの説明を熱心に聞き、何より教祖をより身近に  
 感じることができました。ほかほかとした気持ちのいい陽気  
 の中、みんなで楽しく歩かせていただきました。



がつはつか かいがい りょうもち  
12月20日 海外ふるさと寮お餅つき

この日は寮に住んでいる人はもちろん、詰所に住んでいる  
学生、日本語科のスタッフも一緒に寮で餅つきをしました。  
やわらかいお餅はとともおいしかったです。



がついつか なのか ほんぶ  
1月5日～7日 本部おせちひのきしん

今年も厳しい寒さの中、大勢の方がおちばに帰って来られ  
ました。帰参された方々に少しでも喜んでいただこうと、  
学生たちは笑顔で元気いっぱい給仕接待のひのきしん  
をさせていただきました。



がつ にち にほんごか かいがい りょうたいさい  
1月17日 日本語科・海外ふるさと寮大祭まなび

日本語科生として、一年間無事に通らせていただいたこと  
への感謝の気持ちを持って、スタッフ、学生一同で、心を  
合わせて十二下りのおつとめをつとめさせていただき、そ  
の後、加見英樹海外部北米オセアニア課長の講話を聞  
かせていただきました。



がつ にち こうきけんしゅう  
1月23日 後期研修

稿本天理教教祖伝第十章「扉ひらいて」を紐解き、教祖  
のひながたを改めて学ぶとともに、春季大祭の意義を再  
確認しました。また、ようぼくとして、これからどのように通ら  
せていただいたらいいのかを、率直な気持ちで話し合いま  
した。



がくせいもくひょう わたし  
学生目標 「私は~~ようぼくになる!!」

- 私は様々な人におさづけをするようぼくになる!!
- 私はいろいろな人とコミュニケーションがとれるようぼくになる!!
- 私はいろいろな人と対話できるようぼくになる!!

がつとお か だい かい  
2月10日 第20回スピーチ大会

ねん にほんごがくしゅう しゅうたいせい たいかいとうじつ  
この1年の日本語学習の集大成となるスピーチ大会当日  
むか けんこう なんと か なお けんめい れんしゅう かさ  
を迎えました。原稿を何度も書き直し、懸命に練習を重ね、  
せいか おのおの おも こ はっぴよう  
その成果を各々の思いを込めて発表しました。

スピーチのテーマ

セーラ(カンボジア/浅草)	まえ おとこ お前は男だ
ソンバット(カンボジア/浅草)	スペシャルクラス
ダニーザ(フィリピン/東本)	「おはようございます」という言葉の力強さ
ニエノ(インドネシア/兵神)	つながるカレー
カズエ(ブラジル/兵神)	考えすぎて立ち止まる自分
パネッサ(ブラジル/兵神)	郷に入っては郷に従え
コウキ(ブラジル/雨龍)	田植え
カミラ(ブラジル/熊本)	留学生活の中で見つけた感謝
トシ(ブラジル/撫養)	出会いのいんねん
ミツル(ブラジル/津)	来て良かったのかな
ジェニ(コロンビア/津)	学びの機会
エリザ(コロンビア/津)	私をここまで連れてきてくれた全て
ナムギユ(韓国/河原町)	「僕が死のうと思ったのは」の本当の意味
ソングェ(韓国/敷島)	池と石
ジュノ(韓国/敷島)	結局道が無いで
ワタル(台湾/敷島)	迷宮の冒険
シャイアン(オーストラリア/敷島)	ようぼくになって
ブライオン(アメリカ/本島)	一信
プーナ(ラオス/名古屋)	みつけた夢
プーミン(タイ/名古屋)	生きる目的
スス(ミャンマー/飾東)	幸せになる方法
レオ(台湾/山名)	最高の決断
メイ(台湾/山名)	この一年の変化
ローケン(台湾/山名)	感謝
ジェホン(韓国/京城)	未来のための土台
ジウン(韓国/高安)	この一年と感謝
ジヒョン(韓国/八木)	ありがたい気持ちを！

スピーチより



Tun, Lomesila

(セーラ/カンボジア/浅草)

にほん はじ き とし にほん ぶんか てんき たもの  
日本へ初めて来た時、日本の文化や天気や食べ物など  
すこ たいへん な くに かえ おも  
少し大変でした。慣れなかったので、国へ帰ろうと思いま  
わたくし じぶん じしん あきら がんぼ まえ おとこ  
したが、私が自分自身に「諦めるな！頑張れ！お前は男  
だ！」と言いました。最後に、皆様に良い言葉があるので  
つた おも きぼう も あきら がんぼ なん  
伝えようと思います。希望を持って諦めなければ何でもで  
がんぼ がんぼ せいこう だれ  
きます。頑張ったらいつか成功します。誰もあなたのやりた  
いことを止められません。止められるのは自分だけです。



Lang, Soksombath

(ソンバット/カンボジア/浅草)

わたくし まいにち ほや かえ  
私は毎日、スペシャルクラスがあるので早く帰ることがで  
きません。毎日さびしい気持ちになりました。でも、2組の  
ともだち 「がんぼ いっしょ おぼ わたくし ほげ  
友達は「頑張って」「一緒に覚えましょう」と私を励ましてく  
れしました。私は嬉しくなって、もっと頑張ろうという気持ち  
になりました。さいご にほん ご か せんせい いっか せん  
最後に、日本語科の先生、アジア一課の先  
せい つめしよ せんせい き  
生、そして詰所の先生、いつも気にかけてくださり、また、  
たくさんアドバイスをくださり本当にありがとうございます。  
てんり だいがく い  
天理大学へ行ってもがんばります。



Geta, Daniza Mae Diaz

(ダニーザ/フィリピン/東本)

にほん ふつう  
日本では、「おはようございます」というのはとても普通で、  
やさ 学校や仕事、近所の人に「おはよう」と言いま  
す。知らない人にも「おはよう」と言うと少しつながりを感じ  
ることができます。とても良い一日の始まり方です。そし  
けいけん わたくし まいにち すぼ  
て、この経験から、私は毎日を素晴らしく、ポジティブにし  
ていこうとおもっています。だから今できるのは頑張ること  
みなさま まいにちあいさつ つづ  
です。皆様も毎日挨拶を続けましょう。





**Stephanie , Novena Nareswari**  
(ニエノ/インドネシア/兵神)

ある日、カレーの中に入っているお肉、じゃがいも、にんじんなどに注目してみました。それを見て、天理教の教えを思い出しました。天理教では、人々が助け合い、共に歩むことが大切だと言われています。カレーの中のお肉や野菜たちも、お互いに助け合って一つの料理として完成しているのだと気づきました。それは、すべての物事が一つだけでは成り立たず、すべてがつながっているということを学んだ瞬間でした。私はこの経験を通して、人と人とのつながりを考えるようになって、前より周りの人へ感謝する気持ちが増えました。また、何をやるにもすぐに嫌だ、やりたくないと思っていましたが、どうしてそれをやるのか、それをやる意味は何なのか、物事の中にある意味を考えることができるようになりました。



**Gallego Castilla, Derli Vanesa**  
(パネッサ/コロンビア/兵神)

私はおちばに来る前に、お道の先生からアドバイスをいただきました。それは「A donde fueres, haz lo que vieres」、日本語では「郷に入っては郷に従え」です。私はそこから、先生と母のアドバイスのとおり、生活を続けました。日本のスタイルで新年を迎えて、教会の方とお酒を飲んだり、詰所のおばあちゃんたちとお風呂でおしゃべりしたりしたおかげで、日本の、そして、天理教の中での日常生活が、多くの人々との楽しい瞬間でいっぱいになりました。



**Akioka Ishikawa, Enzo Kouki**  
(コウキ/ブラジル/雨龍)

田植えは本当にすばらしいです。私たちはときどき神様のご守護を忘れて、自分の力で生きていておしまします。この体は借りものであり、心だけが自分のものであることを忘れてしまいます。私もその経験がたくさんありました。健康なときは感謝することを忘れてしまいます。いろいろなことが不満になって、最後には病気になります。悪い実が育ってしまうのです。特に病気になると反省をして健康がどれほど幸せかを実感します。私たちは「いい実」を育てなければなりません。私は田植えの経験をして、そのことを学びました。



**Sakaguchi, Kazue Alice**  
(カズエ/ブラジル/兵神)

子供の頃友達に、「もし未来がわかるなら知りたい？」とよく聞かれました。そのたびに、私は「知りたい」と答えました。準備ができているからです。でも、準備ができて、緊張したり心配したりしてしまいます。私はいつも何かを決める前に考えすぎてしまう癖があるということです。今まではその癖が悪いことだと思っていませんでした。でも、日本語科での経験を通して、それが私を緊張させたり、前に進むことを止めたりしている理由だと気づきました。私は「考えすぎて立ち止まる自分」を変えたいと思うようになりました。人生には、予期していないこともたくさんあります。だから、あまり心配しすぎないで、神さまが一番良いようにしてくださると信じるようにしていきたいと思っています。



**Moniva, Camila Yoshine**  
(カミラ/ブラジル/熊本)

私は料理にはたくさんの記憶があると思いました。料理を作ったり、食べたりすることで、大切な人や大切な思い出を思い出すのです。祖母の記憶とか、小さいとこの記憶を思い出したと言っていた友達もいます。そんな記憶は皆にあるかもしれない気がしてきました。料理を作って、TLIの皆で食べたことは新しい記憶です。だから、もっとおいしく感じたし、大切なエピソードになりました。





仙田 フェルナンド 鉄一  
(トシ/ブラジル/撫養)

このTLIの一年で様々な人と知り合って友達になりました。面白い友達、頑張る友達、話しやすい友達、熱心な友達、強い友達、優しい友達。その人達を見ると、私は感動します。私も強くなりたい。頑張りたい、あんな素晴らしい友達のようにになりたいという気持ちを持ちます。とても短い期間でしたが、皆様のおかげで私の日本語と心も少し成長しました。まだまだたくさん努力しなければなりません、これからまた、こんな素晴らしい人達と出会ったら、だんだん陽気ぐらしに近づかずです。



石井 ルーカス 満  
(ミツル/ブラジル/津)

「おばあちゃん、来年天理へ勉強しに行きますよ。」  
そう言ったら、おばあちゃんが泣き始めました。それは悲しみの涙ではなく、幸せの涙でした。日本に来ることが正しい決断かどうかまだ分かりませんが、心配する必要はないと思えました。日本に来るという決断は、自分のため、成長できる機会となり、自信を持って自分の道を切り開くことができました。



Eraso Melvis, Jennifer  
(ジェニ/コロンビア/津)

私は日本で3年間を過ごしましたが、この3年間は私の人生で決して忘れられないものです。教祖がかつて、人間は物事を簡単に忘れてしまうとおっしゃったのを思い出して、教祖が教えてくださったことを簡単に忘れないためには、人生の中で困難な瞬間や、非常に衝撃的な瞬間を経験する必要が有ると思います。ですから、そんな時は諦めたり、文句を言ったりするのではなく、学びの機会として前に進んでいくべきだと思います。



Aldana Andrade, Elizabeth  
(エリザ/コロンビア/津)

天理教に出会い、八つのほこりや十全の守護を読んで、自分の心のことがちょっと分かるようになりました。うつ病はどんどん治って、その時から私の新しい人生が始まりました。私の彼氏が「ICESI」という大学の素晴らしさを教えてくれました。祖父が不意に連絡をくれて、学費を援助すると言ってくれました。親神様のおかげで、私はまた大学に入学できたのです。そこで多くの大切な友達に出会い、そして一度は諦めた夢をもう一度見ることができました。これまでの人生で、家族や友人に多くの問題や病気がありましたが、そのおかげで、教祖が教えてくださったように、なぜ水の味がすることに感謝しなければならないのかわかりました。苦しい時でも毎朝、目を開けて、呼吸ができることに感謝できるようになりました。



安 南圭  
(ナムギユ/韓国/河原町)

この1年間で学んだこともいろいろあります。日本語とみんなの優しさ、そして忍耐することとたんのうすることです。なにかあったらすぐに神様のところに行けるし、とてもありがたい1年でした。これも親神様のお導きや手引きだと思つて、愛情の心で通らせていただきました。





## 裴 省齊

(ソンジェ／韓国／敷島)

僕はよく池に石を投げて遊びました。友達や家族と競争したり、1人で投げて遊んだりしました。石を投げたら、池の水は飛び散ったり、波がゆらゆらしたりします。そして、最後には結局、静かになります。僕はこの石一つ一つを我々が生きている毎日使う心だと仮定したいと思います。すなわち、毎日っているのは我々が選んだ通りに決まるということです。僕はここ、おちぼという池で一年間、毎日心の石を投げ入れ続けました。今日、皆さんもどこかで投げるとおもいます。僕は今まででっこ遊びみたいになんとか軽く投げてきましたが、今後はもっと頑張りたいです。



## 張 竣豪

(ジュノ／韓国／敷島)

学校を卒業したふるさとを離れて、想像も付かない所を渡り歩きました。去年4月から日本留学が始まりました。楽しいこともつらいこともあったんですが一番よかったのは日本語です。先生のおかげで自分の考えを喋ることができるようになりました。まず先生ありがとうございます。そして仲間たちの皆さん、1年間本当にありがとうございます。どこへ行っても何をしても、自信を持ってください。



## 江 恆

(ワタル／台湾／敷島)

今後、皆にどんな試練があっても2つのことを忘れないでください。一つ目は無理しないでください。気持ちが悪くて、体調が悪い時、教会へ行ってください。2つ目はどんな厳しい試練も親神様は皆を成長させたいと考えているということです。ですから、自分の弱さに負けないでください。そして、TLIの迷宮はもうすぐ終わります。今後、皆は別々の迷宮へ行きます。寂しい時、頭を上げてください。皆は同じ空の下にいます。きっとまた会う機会があります。



## Baker, Cheyanne Sally

(シャイアン／オーストラリア／敷島)

私にとっての大きな転機は、おさづけの理をいただいて、ようぼくになったことです。ようぼくになって、私の中で頑張りたい気持ちが大きくなるのを感じました。これから他の人を助けられるようになりたいと思いました。そして、感謝の気持ちも大きくなりました。まだ日本語の勉強は大変ですが、私の心が成長していることに幸せを感じています。天理教の教えをもっと学んで、オーストラリアで教えを伝えられるようになりたいです。



## Wong, Bryton Kazunobu

(ブライトン／アメリカ／本島)

名前はただのラベルではなく、私たちのアイデンティティを作る力を持っています。高校生のとき名前についての本を読んでから「名前」というものに興味を持ちました。そして、名前はその人の性格や人生に影響していると考えました。そこから、「自分はどんな性格なのだろう」「一信ってどんな人間なんだろう」という疑問が生まれました。その中でたくさんの学びがありました。楽しむ力、諦めない力、素直さ、他にもたくさんの力を学びました。これらの学びが「どうすればいい人になれるのか」という答えのヒントになりました。そして、たくさんの人と出会い、話し、いろいろな経験をして「一信」という人間が少しわかってきたような気がします。ここに来て、人から学ぶことを求めて、成長することができました。答えはまだ見つかりませんが、これからも自分を探し続けていきたいです。



大 千 一 十 斗





## Outhoumphone, Chaleunsouk

(プーナ/ラオス/名古屋)

わたしはTLIに来ることができました。それから大教会に行くようになって、そこで毎回子供たちと一緒に遊びました。そして、子供たちが成長する姿、私が教えることを学んでいる姿を見ることがとても嬉しくて、自分を誇りに思うようになりました。これがきっかけになり、私はラオスに「良い学校を作りたい」「先生になりたい」という夢を見つけました。そんなある日、私はTLIの先生と子供のワコちゃんに会いました。私はワコちゃんに「学校は楽しいですか？」と聞いてみました。ワコちゃんは「楽しいよ。毎日学校行きたい」と言いました。私は子供たちが行きたくなる学校を作りたいと思いました。私の夢はまだ始まったばかりです。夢を叶えられるようにこれから頑張っていきます。



## Zaw, Su Myat Thiri

(スス/ミャンマー/飾東)

おちばに来て、生きていることは楽しいと考えられるようになりました。そう考えるといつもありがたい気持ちになりました。私たちが愛する人もいれば、嫌いな人もいるかもしれませんが、自分が今憎んでいる人は前世では自分がとても愛していた人です。だから今世でも二人がもう一度会えるように教祖に祈ったかもしれませんよ。だから自分が憎んでいる人がいたとしても、「その人がこの世界で隣にいるのは前世で自分が祈った祈りを教祖がゆっくり叶えてくれているのだ」と考えて感謝の気持ちで、受け入れるべき物を受け入れ、助けるべき人を助ける方法を考えるべきだと思います。



## Puming, Chompuming

(プーミン/タイ/名古屋)

ある日、高校の先生から連絡が来て私は絵の教師になりました。生徒たちは私に「僕らが大学に合格できたのは先生のおかげです！」と言ってくれました。その時から私は、「生きる目的」をもらいました。私の命は子どもたちのために使おうと思いました。そんな生徒たちのために日本へ来て、TLIに入学しました。私が日本語を勉強したら、タイに帰って子どもたちに日本語を教えることができるからです。そのためにこれからも日本語の勉強を頑張ります。これが、私の「生きる目的」です。



## 羅 煌勝

(レオ/台湾/山名)

これまでを振り返ると、全てが「一期一会」だったと感じます。一つ一つの出会い、一つ一つの経験が、私に新しい考え方や接し方を与えてくれました。この経験を通じて、私は挑戦することの大切さ、そして感謝の気持ちを忘れないことを学びました。今までの、人生で多くの間違っただんを後悔することがたくさんありました。しかし、今回は、タイトルの通り「最高の決断」です。





## 賴 昱銘

(メイ/台湾/山名)

この数か月でいろいろな変化がありました。私はそれはいい変化だったと思います。TLI、おちぼという環境にいるおかげで、私は少しずつ変わってきました。日本語も上手になったし、よく外へ出かけるようにもなりました。おちぼに来て本当に良かったと思います。これからも、もっと日本語を勉強して、もっと話せるようになりたいです。他のまだ行ったことのないところにも行って、日本のいろんな景色が見たいです。そして、もっといい方向に成長できるように頑張ります。



## 具 材洪

(ジェホン/韓国/京城)

私が一番強調したいのは4つです。何をするにも無理せず、心明るくやるのが大事だということ、何となくない普段の生活がとても貴重だということ。特に12月に韓国で大変なことが起きて、危険な状況になったことがあって、そう思いました。それから、困ったとき、近くに頼れる場所があること、困ったときは周りの人を信じて頼ることができることです。この4つのことを心に置いて暮らしたら、きっと、よりよく生きられる未来のための土台を築くことができると、私自身はそう信じています。



## 呂林 昱群

(ローケン/台湾/山名)

今年、私が日本語科で学ぶことを決めた理由は、料理の仕事を続けたくなかったからです。様々な困難やプレッシャーの中で、私はうつ病になり、その時の私は親神様を信じようとも頼ろうともしませんでした。しかし、修養科、TLIでの生活を通して、気持ちが変わり始めました。私が作った麻婆豆腐をジュノさんが食べて、涙を流しながら「あなたの料理は人を感動させ、幸せなエネルギーを与えることができる。だから、今やっていることを諦めないで。」と言ってくれました。その言葉が私に料理を続ける力を与えてくれました。この一年で人生のどん底から立ち直り、親神様がなぜこの年に私たちをおちぼで引き合わせたのかを理解することができました。



## 林 智恩

(ジウン/韓国/高安)

この1年で改めて「未来のことは誰にもわからない」ということを習いました。私は数年前、両親にTLIへ行きたくないと言っていたのに、今は楽しくて健康な毎日を過ごしています。私が天理へ来たきっかけは、病気です。そんなころからだ、けんこう、わたし、りょうしん、すす、心も体も健康じゃなかった私は、両親に勧められて天理へ来ました。この一年を振り返ると、私は少しずつ変わってきたと思います。今の私は、自転車にも乗れるようになって、よろづよ八首の歌とおてふりも覚えました。おちぼでは本当にいい時間を過ごすことができました。ここで出会った皆のおかげです。



## 李 知炫

(ジヒョン/韓国/八木)

ここでの生活は、ただの勉強ではなく、体で、心で感じたことがとても大切だと思います。私はおちぼへ来て、ありがたい気持ちを学ぶことができました。天理で会った友達や先生方にはたくさん助けてもらいました。「きっとこの人も大変なのに、私のことを考えてくれているんだな。」と思うきっかけになりました。私も私がしてもらったように、他の人々にもこの嬉しい気持ちを教えてあげたいです。

# 語科スピーチ大



がつ にち そうごう  
2月15日 総合おつとめまなび

おやさ<sup>か</sup>とふせこみ<sup>か</sup>科、日本語科<sup>にほんごか</sup>のみんな<sup>いちねんかん</sup>で、一年間の感謝<sup>かんしゃ</sup>が親神様<sup>おやがみさま</sup>、教祖<sup>おやさま</sup>に届く<sup>とど</sup>ように当日<sup>とうじつ</sup>まで一生懸命<sup>いっしょうけんめい</sup>練習<sup>れんしゅう</sup>し、おつとめまなび<sup>おつとめまなび</sup>ではおつとめ衣<sup>おつとめぎ</sup>を着<sup>きて</sup>て一手<sup>いっぺん</sup>一つにつとめ<sup>つとめ</sup>させていただきました。



がつようか りつきよう ねんど そつぎようしき  
3月8日 立教187年度 卒業式

1年間<sup>ねんかん</sup>親里<sup>おやさと</sup>でお育て<sup>そだ</sup>いただいた感謝<sup>かんしゃ</sup>を胸<sup>むね</sup>に、空<sup>そら</sup>も心<sup>こころ</sup>も晴れやかに<sup>かどで</sup>門出<sup>ひ</sup>の日<sup>むか</sup>を迎え<sup>むか</sup>ました。日本語科<sup>にほんごか</sup>を代表<sup>だいひょう</sup>してトシさん<sup>としま</sup>(ブラジル/撫養<sup>むや</sup>)がお礼<sup>れい</sup>のことばを述べ<sup>述べ</sup>ました。



れい  
お礼のことば



4月6日<sup>がつむいか</sup>から、13ヶ国<sup>かこく</sup>からの総勢<sup>そうぜい</sup>28人の留学生<sup>りゅうがくせい</sup>がこの日本語科<sup>にほんごか</sup>で一緒に<sup>いっしょ</sup>勉強<sup>べんきょう</sup>し始め<sup>はじめ</sup>ました。親神様<sup>おやがみさま</sup>、教祖<sup>おやさま</sup>が私たち<sup>わたしたち</sup>、一人ひとり<sup>ひとり</sup>を選んで、この場所<sup>ばしょ</sup>、この時<sup>とき</sup>に集めて<sup>あつ</sup>くださ

いました。それぞれ<sup>それぞれ</sup>、理由<sup>りゆう</sup>は違<sup>ちが</sup>いますが、このおちば<sup>おちば</sup>にある<sup>ある</sup>TLIへ勉強<sup>べんきょう</sup>に来<sup>き</sup>ました。身上<sup>みじょう</sup>や事情<sup>じじょう</sup>で来<sup>き</sup>た人<sup>ひと</sup>。日本語<sup>にほんご</sup>または天理教<sup>てんりきょう</sup>に興味<sup>きょうみ</sup>を持<sup>も</sup>って来<sup>き</sup>た人<sup>ひと</sup>。親<sup>おや</sup>に日本語科<sup>にほんごか</sup>に勧め<sup>すす</sup>られて来<sup>き</sup>た人<sup>ひと</sup>もいるかもしれません。とにかく<sup>とにかく</sup>、全員自分<sup>ぜんいんじぶん</sup>の意志<sup>いし</sup>でこのコース<sup>コース</sup>を始<sup>はじめ</sup>ました。

日本語科<sup>にほんごか</sup>では、日本語<sup>にほんご</sup>、日本の文化<sup>にほんぶんか</sup>、そして、天理教<sup>てんりきょう</sup>の勉強<sup>べんきょう</sup>をすることができます。まず、日本語<sup>にほんご</sup>の授業<sup>じゅぎょう</sup>については、とても忙<sup>いそ</sup>しい日々<sup>ひび</sup>でした。先生方<sup>せんせい</sup>は、日本語<sup>にほんご</sup>をどうやっ<sup>やっ</sup>て教<sup>おし</sup>えるか、どの順番<sup>じゅんばん</sup>、どの本<sup>ほん</sup>、どんな資料<sup>しりょう</sup>を使<sup>つか</sup>えばいいか<sup>か</sup>を考え<sup>かんが</sup>えたり、宿題<sup>しゅくたい</sup>を一つずつ<sup>ひとつづつ</sup>チェックしたり、テストを作<sup>つく</sup>ったり、きつと大変<sup>たいへん</sup>な仕事<sup>しごと</sup>だと思<sup>おも</sup>います。それでも先生方<sup>せんせい</sup>は一生懸命<sup>いっしょうけんめい</sup>頑張<sup>がんば</sup>ってくださ<sup>くだ</sup>さっていたことが感<sup>かん</sup>じられました。

一方<sup>いっぽう</sup>、学生<sup>がくせい</sup>たちの努力<sup>どりょく</sup>も必要<sup>ひつよう</sup>です。毎日<sup>まいにち</sup>新しい文法<sup>ぶんぽう</sup>、漢字<sup>かんじ</sup>、沢山<sup>たくさん</sup>の言葉<sup>ことば</sup>を覚<sup>おぼ</sup>えるのは簡単<sup>かんたん</sup>なことではありません。多く<sup>おほく</sup>の宿題<sup>しゅくたい</sup>、モー漢<sup>かん</sup>、テストの勉強<sup>べんきょう</sup>はすごく心配<sup>しんぱい</sup>になります。同時に<sup>どうじ</sup>、学<sup>まな</sup>んだことを会話<sup>かいわ</sup>で使<sup>つか</sup>えるようにしなければなりませ<sup>せ</sup>ん。最初<sup>さいしょ</sup>は、足り<sup>た</sup>りない日本語力<sup>にほんごりょく</sup>で話<sup>はな</sup>すのにはとても苦勞<sup>くろう</sup>しましたが、少し<sup>すこ</sup>し時間<sup>じかん</sup>が経<sup>た</sup>ったら、日本語<sup>にほんご</sup>でもっと話<sup>はな</sup>せるようになりま<sup>ま</sup>した。先生方<sup>せんせい</sup>と学生<sup>がくせい</sup>たちの努力<sup>どりょく</sup>によって、私たち<sup>わたしたち</sup>の日本語<sup>にほんご</sup>が成長<sup>せいちょう</sup>して、JLPTとTOPJに合格<sup>ごうかく</sup>でき、素晴<sup>すば</sup>らしいスピーチ大会<sup>たいかい</sup>に出<sup>で</sup>られました。

さらに、文化<sup>ぶんか</sup>的な体験<sup>たいけん</sup>もいろいろできま<sup>ま</sup>した。大神神社<sup>おほみわじんじや</sup>、平城宮跡<sup>へいじょうきゆうせき</sup>を見学<sup>けんがく</sup>し、天理参考館<sup>てんりさんこうかん</sup>の見学<sup>けんがく</sup>では、日本<sup>にほん</sup>と世界<sup>せかい</sup>の歴史<sup>れきし</sup>と文化<sup>ぶんか</sup>を实际<sup>じっさい</sup>に見<sup>み</sup>られました。茶道<sup>さどう</sup>の授業<sup>じゅぎょう</sup>で、きれいな着<sup>きもの</sup>物を着<sup>きて</sup>て、お茶<sup>ちや</sup>を作<sup>つく</sup>りました。和太鼓<sup>わたいこ</sup>をたたきなが<sup>ら</sup>、リズム<sup>れんしゅう</sup>の練習<sup>れんしゅう</sup>をしま<sup>し</sup>たし、目の前<sup>めまへ</sup>で演奏<sup>えんそう</sup>も楽<sup>たの</sup>しみま<sup>ま</sup>した。また、いろん<sup>にほん</sup>な日本<sup>にほん</sup>の行事<sup>ぎょうじ</sup>も体験<sup>たいけん</sup>できま<sup>ま</sup>した。例えば、七夕<sup>たなばた</sup>、お正月<sup>しょうがつ</sup>、節分<sup>せつぶん</sup>、餅つき<sup>もちつき</sup>、書き初め<sup>かきぞめ</sup>をしたり、他<sup>ほか</sup>にも、田植<sup>たう</sup>え、稲刈<sup>いねか</sup>り、一緒<sup>いっしょ</sup>に折<sup>お</sup>り紙<sup>がみ</sup>をし<sup>し</sup>たり、文化<sup>ぶんか</sup>的な経験<sup>けいけん</sup>が

あふれていました。それ以外に、みんなで、ぶどう狩りや、ほこてんりのパレードなど、思い出すとどんどん出てきて微笑んでしまいます。

それに、天理教の授業について、教理も実践も体験もできました。各言語で学び、それから日本語で教理の授業があります。おてふりと鳴り物の授業。教祖の生まれた場所の見学。こどもおちばがえりひのきしん、お節会、他にも様々なひのきしんもみんなで一緒に頑張りました。また、おやさとふせこみ科と共に、総合おつとめまなびも行いました。また、皆さんの努力で、全員ようぼくになって、困っている人におさづけを取り次いでいます。

日本の四季も素敵でした。春のお花見、夏のにぎやかな花火、秋の紅葉、それに冬の雪を感じて、ありがたいという気持ちでこの国で暮らしました。

ところが、一年楽しいことだけではありませんでした。友達と誤解から喧嘩もしました。親戚や友達の出直しの事情で非常に苦しい日もありました。身上で、病院へ行ったり来たりしていた期間もありました。あと、日本語科生28人全員で卒業は残念ながらできませんでした。

ただ、どんな状況にもかかわらず、結局、みんな、この一年は同じ船に乗っているという感情を持っていました。この船が激しく揺れたら、みんなも揺れる。船が迷ったら、みんなも迷う。船が陽気にしっかり進めばみんなも陽気にしっかり進む。

これから、私たちはそれぞれの船に乗って、進み続けますが、海は一つです。自分の場所で新しい生活をして、みんなが同じようぼくとして、生きる幸せを世界に広められるようになれると思います。

最後に、親神様、教祖、大教会や詰所の先生方、海外部の先生方、家族、友達、そして同級生たちへの感謝の気持ちを一生心に持ち続けます。皆さんと出会えたことは、とても不思議で特別なことでした。心から、感謝申し上げます。この船に乗っていた期間は非常に楽しかったです。

一年間、本当にありがとうございました。

わだいこたいけん  
和太鼓体験



## 2024年度 日本語科生の進路

おやさとふせこみ科

14名

本科実践課程

1名

専修科

1名

大学進学

3名

日本語学校

1名

帰国

7名

自主退学

1名

計 28名

2025年8月1日現在



ねんど おも ぎょうじ  
2024年度の主な行事

- 4月
- 6 入学式、一れつ会扶育決定懇談会
  - 8 全体オリエンテーション  
クラス分けテスト
  - 9 日本語科オリエンテーション
  - 10 前期授業開始
  - 18 教祖誕生祭参拝
  - 26 月次祭参拝
  - 29 全教一斉ひのきしんデー参加
- 5月
- 7 修練(おてふり)授業開始
  - 10 言語別研修
  - 13 言語別教義開始
  - 25 SATOM交流会
  - 26 月次祭参拝
- 6月
- 2 ようぼく一斉活動日参加
  - 8 親睦会
  - 12 田植えひのきしん
  - 26 月次祭参拝
- 7月
- 5 消防訓練
  - 13 前期研修、天高生交流会
  - 18 前期試験(～20)
  - 22 直属研修(～23)
  - 25 こどもおちばがえりひのきしん(～31)  
(38母屋宿舎、忍者村ひのきしん)
  - 26 月次祭参拝(各自参拝)
  - 31 前期終了
- 8月
- 1 夏期休業(～8/31)
  - 26 月次祭参拝(各自参拝)
- 9月
- 2 中期授業開始、中期オリエンテーション
  - 26 月次祭参拝、履物世話ひのきしん
- 10月
- 7 山の辺小学校交流会
  - 9 中期研修(～11)
  - (稲刈りひのきしん、大神神社、ぶどう狩り)
  - 13 一れつ会創立記念式典出席
  - 26 秋季大祭参拝

- 11月
- 3 ようぼく一斉活動日参加
  - 13 中期試験(～15)
  - 15 中期終了
  - 16 「ほこてんり」参加
  - 18 後期授業開始
  - 19 日本語教義授業開始
  - 26 月次祭参拝
  - 27 直属担当者会
- 12月
- 1 日本語能力試験受験
  - 6 史跡見学
  - 18 大掃除
  - 20 お餅つき(海外ふるさと寮)
  - 21 冬期休業(～1/4)
- 1月
- 5 本部おせちひのきしん(～7)
  - 9 授業再開
  - 17 日本語科おつとめまなび・海外ふるさと寮大祭まなび  
(講話:北米オセアニア課 加見英樹課長)
  - 18 TOPJ実用日本語運用能力試験受験
  - 23 後期研修
  - 26 春季大祭参拝
- 2月
- 1 天理大学みんなの文化フェスタ参加
  - 10 スピーチ大会(講堂)
  - 13 校長訓話
  - 15 総合おつとめまなび  
(講話:上村雄郎校長)
  - 22 一れつ会扶育生卒業お礼参拝
  - 25 後期試験(～28)
  - 26 月次祭参拝
  - 28 後期終了
- 3月
- 7 卒業式予行練習、大掃除
  - 8 卒業式、卒業祝賀会



プーミング チョムプーミング  
(プーミン/タイ/名古屋)

あなたの心は弱い物ではない、強いです。頑張ってください。



ステファニ ノヴェナ ナレスワリ  
(ニエノ/インドネシア/兵神)

一緒に過ごせて本当に楽しかった！ありがとうございました！また今度ね！♡♡♡



ダニーザ メイ ディアス ゲタ  
(ダニーザ/フィリピン/東本)

一年間にたくさんのことがあった。とても楽しかった。先生や学生のみんな、ありがとうございました。これからも一緒に頑張りましょう。



ウトウマポーン ジャルーンスック  
(プーナ/ラオス/名古屋)

一年間は短いので、大切にしてください。毎日を最高に頑張れば、後悔することはないよ。



ラン ソッケンバット  
(ソンバット/カンボジア/浅草)

一年間、TLIでたくさんの経験ができました。皆さんに会えてめっちゃ楽しかったです。



トン ロムセーラ  
(セーラ/カンボジア/浅草)

希望を持って諦めなければ何でもできます。頑張ったらいつか成功します。誰でもあなたのやりたいことを止められません。



ゾー ス ミヤツ ティリ  
(スス/ミャンマー/飾東)

嬉しいときも悲しいときも、その瞬間を決して忘れないで…。私たちは皆、永遠の友達です♡♡



アン ナムギユ  
(ナムギユ/韓国/河原町)

天理教というのは何か、矛盾と強要、幸福と悲しみ。いろんなことを感じられるのが天理教。ふるさとも思います。



ペ ソンジエ  
(ソンジエ/韓国/敷島)

一年間日本語科の先生方や友達など、お世話になりました。今年もよろしくお祈りします。



ジャン ジュンホ  
(ジュノ/韓国/敷島)

いいあらきとりようになりましょう。



イム ジウン  
(ジウン/韓国/高安)

卒業のあと、何が起きるかわからないけど、みんなはここまで頑張っていたから大丈夫と信じていますよ。2024年、お疲れ！



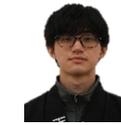
イ ジヒョン  
(ジヒョン/韓国/八木)

おやさとおみこみ科に入っても、ありがたい気持ちを忘れないように頑張ります！



グ ジェホン  
(ジェホン/韓国/京城)

いろんな痕跡を残そうと頑張ってきたひとりの男。



ライ ユミン  
(メイ/台湾/山名)

これからも引き続きおちばでがんばりたいと思います。





ロウ ホアンジェン  
(レオ/台湾/山名)

この一年間、大変お世話になりました。  
お別れは寂しいですが、またお会いできると信じています。皆さんの未来をここから応援しています！



イシイ ルーカス ミツル  
(ミツル/ブラジル/津)

お前たち、本年はめっちゃ感謝だぜ！！！！！！  
そして、来年も一緒に残る友人たち、頼りにしてるぜ！！！！！！



ロウリン ヨクケン  
(ローケン/台湾/山名)

できるだけ、毎日スーパーへ行ってください。毎日サ  
プライズがあります。



モニワ カミラ ヨシネ  
(カミラ/ブラジル/熊本)

TLIのおかげで、いい経験ができました。皆は素晴らしいです。



ジャン ヘエン  
(ワタル/台湾/敷島)

皆と出会えたことは本当に幸せです。もし、台湾へ  
きたら、ぜひ連絡してください。機会があったら私も  
皆の国に行くかもしれません。



アキオカ イシカワ エンゾ コウキ  
(コウキ/ブラジル/雨龍)

たとえゆっくりでも、常に進み続けましょう。学ぶには  
時間がかかりますが、最も大切なことは喜びを感じるこ  
とです。



ウオング ブライトン カズノブ  
(ブライントン/アメリカ/本島)

先生方や同級生のおかげで色々な経験ができてた  
くさん成長できました。皆に本当に感謝しています。



ガジェゴ カスティジャ デルリ バネッサ  
(バネッサ/コロンビア/兵神)

郷に入っては郷に従え。もちろん勉強は大事ですが、  
日本語科の生活を楽しむことも大切です。いっぱい楽  
しんでね。



ベイカー シャイアン サリー  
(シャイアン/オーストラリア/敷島)

とても楽しかったです！！みんな、ありがとう！



アルダナ アンドラーデ エリザベス  
(エリザ/コロンビア/津)

TLIは思ったより楽しかったです。皆さん、もう味噌汁  
に慣れましたか？私は慣れることができました。  
どうかお幸せに。



サカグチ アリッセ カズエ  
(カズエ/ブラジル/兵神)

この一年間は本当に忘れられません。お世話になっ  
た皆様にここから感謝しています。この経験は心に残  
ると思います。これからも頑張ります。ありがとうございました。



エラソ メルビス ジェニフェル  
(ジェニ/コロンビア/津)

TLIで1年間日本語を勉強しました。みんな一生懸命  
頑張ってくれて、素晴らしい経験でした。心から感謝し  
ています。



センダ フェルナンド トシカズ  
(トシ/ブラジル/撫養)

過去、現在、未来、全部コントロールしたいけどまった  
くできない。残るのは人にやさしくして、人生を楽しむ  
ことかも。



げんごべつぎょうぎ  
**◎言語別教義**

えいご おかはし よしのり  
**英語:** 岡橋 善教

ぺきんご いで いさむ  
**北京語:** 井手 勇

かんこくご わたなべ けんじ  
**韓国語:** 渡邊 健二

ポルトガル語: かやま ひかる  
**ポルトガル語:** 香山 光

こ あだち しろうご  
**スペイン語:** 足立 正悟

こ ふるはし ゆうじ  
**タイ語:** 古橋 勇次

こ はまだ まこと  
**フィリピン語:** 濱田 誠

にほんご とい のりひこ なかがわ としゆき  
**日本語(カンボジア):** 土井 典彦(中川 利行)

ぎょうぎ にほんご  
**◎教義(日本語)**

ふかや あきなお おくの よしまさ  
 深谷 明直、奥野 善雅

しゅうれん おてふり  
**◎修練(おてふり)**

むらかみ しゅうとく こうだ まさのり いたう しゅうたろう こう よしあき  
 村上 修徳、幸田 正則、伊藤 翔太郎、洪 善明

しゅうれん なりもの  
**◎修練(鳴物)**

かに かずゆき こう よしあき たけわ こうじろう  
 可児 和之、洪 善明、武輪 浩次郎

ささだ りか ふかや りょうこ おおにし あいり  
 笹田 理香、深谷 涼子、大西 愛理

げんごべつけんしゅう  
**◎言語別研修**

こ ふくだ よしつぐ あだち しろうご  
**スペイン語:** 福田 吉次、足立 正悟

かんこくご かとう もとえ  
**韓国語:** 加藤 もとえ

ちゅうごこくご ツワン モンツワン  
**中国語:** 鐘 孟璵

えいご こうだ まさのり はまだ まこと  
**英語1:** 幸田 正則、濱田 誠

えいご ささだ りか  
**英語2:** 笹田 理香、トラビス

ポルトガル語: ふかや あきなお せんた  
**ポルトガル語:** 深谷 明直、仙田トモミ

こ ふるはしゆうじ  
**タイ語:** 古橋勇次

かんじ  
**◎漢字**

かわしま さわこ おかもと ほなみ うえだ みづき  
 河島 佐和子、岡本 帆未、植田 美月

こうちよう うえむらたけお  
**校長** 上村雄郎

じむちょう よこやまとくろう  
**事務長** 横山徳郎

にほんご か ねんど  
**日本語科スタッフ(2024年度)**

さいとうひさよ よこやまた えこ  
 齋藤寿代、横山多恵子、

あべよしみち かみむられいこ まき よしかわこうすけ  
 阿部善道、上村玲子、オオクラ真喜、吉川宏介、

やまくちいく え おおばあすか まつかわたかひろ  
 山口育恵、大馬明日香、松川高洋テオ

にほんご きょういく ねんど  
**日本語教育センター(2024年度)**

よこやまた えこ  
 横山多恵子

たいぶ  
**退部のスタッフ**

あべよしみち ねん がつ  
 阿部善道(2025年3月)

よしかわこうすけ ねん がつ  
 吉川宏介(2025年3月)

まつかわたかひろ ねん がつ  
 松川高洋テオ(2025年3月)

かいがいしゅうこう しゅつちやうしよ  
**海外出向のスタッフ(ヨーロッパ出張所)**

おおばあすか ねん がつ  
 大馬明日香(2025年4月)



かきぞ  
**書初め**



さどうたいけん  
**茶道体験**



せつぶんぎょうじ  
**節分行事**



氏名	通称	国・地域	直属
鄭 珉伎	ミンギ	韓国	敷島
金 智媛	ジウォン	韓国	八木
李 寅漢	イナン	韓国	八木
魏 床米	サンミ	韓国	八木
金 珉成	ミンソン	韓国	京城
金 濊璘	イェリン	韓国	京城
申 守仁	スイン	韓国	京城
謝 佳妤	チェリー	台湾	山名
許 庭宜	ティンイー	台湾	山名
李 佳傑	リー	台湾	山名
劉 娛斉	ハナ	台湾	山名

氏名	通称	国・地域	直属
Munkh-Orgil, Sukhbat	オリゴ	モンゴル	筑紫
Nakashima, Emili	エミリ	ブラジル	撫養
Senda, Luana Manami	マナミ	ブラジル	撫養
Imai, Nathália Miça	ミサ	ブラジル	日本橋
Fukami Yoshitome, Bruno Kendi	ケンジ	ブラジル	南海
Toyonaga, Emily Michi	ミチ	ブラジル	高知
Hideshima, Luana Ami	アミ	ブラジル	明城
Watanabe, Rodrigo Akiyoshi	ホドリゴ	ブラジル	明城
Ishii Saijo, Vinicius Jun	ジュン	ブラジル	此花
Suzuki Mitsui, Josef Kanzi	カンジ	メキシコ	佐野原
Marcela, Muñoz Pereira	マルセラ	コロンビア	津

てんりきょうごがくいん じょうほう  
 天理教語学院 SNS情報

てんりきょうごがくいんにほんごか  
 天理教語学院日本語科

Instagram



たいしょう  
 対象

- TLI日本語科卒業生・在校生
- TLIスタッフ、海外部スタッフ、人材派遣生
- 卒業生・在校生の家族や直属の関係者

てんりきょうごがくいん  
 天理教語学院 (TLI)

Facebook



たいしょう  
 対象

- TLI卒業生・在校生
- TLIスタッフ、海外部スタッフ、人材派遣生
- 天理大学別科卒業生
- 卒業生・在校生の家族や直属の関係者

お知らせ

PDF版「ふるさと」を第三者へ転送しないよう、ご協力お願い致します。  
 天理教語学院は2020年4月1日から、おやさとやかた東右第4棟に移転しました。

〒632-0014 天理市布留町200番地1 天理教語学院 日本語科

Tel:0743-62-5615

Fax:0743-62-5625

E-mail: [tjpnsg@gmail.com](mailto:tjpnsg@gmail.com)